



【2011年2月例会報告】

2月7日(月)

『カレワラ』の土地はフィンランドのものか？

—民俗学者マルッティ・ハーヴィオのカレワラ研究と「大フィンランド」運動をめぐって—

石野裕子 (津田塾大学国際関係研究所研究員・法政大学非常勤講師 本会会員)



1941年9月2日のアヌス・ラジオ開局時のマルッティ・ハーヴィオ。



1920年代から30年代にかけて高揚した「純正フィンランド性運動」のデモ行進

本講演では、1835年に編纂されたフィンランドの民族叙事詩『カレワラ(Kalevala)』をめぐる解釈と、「大フィンランド(Suur-Suomi: Greater Finland)」思想との関係を考察するために、具体的事例として戦後フィンランドを代表する民俗学者マルッティ・ハーヴィオ(Martti Haavio 1889-1973)のカレワラ研究と「大フィンランド」運動との関係を取り上げた。

「大フィンランド」思想は、当初カレリア人への「近親民族」意識から発したもので、彼らとの「連帯」を目標としたものであった。その思想の大きな根拠となったのは「カレワラの発祥地」説である。『カレワラ』の原詩である口承詩が主にフィンランド領域外のロシア・カレリアで採集されたことから、ロシア・カレリアは元来フィンランドの土地であったとする言説が立てられた。また、

『カレワラ』編纂以前から一部のフィンランド人知識人の間で言語的類似性からカレリア人に対する「近親民族」意識が存在したが、このような意識は19世紀後半に頂点を迎えた芸術運動カレリアニズムによって一般民衆にも共有されるようになり、「大フィンランド」思想へとつながった。

以上のようなカレリア人との「連帯」意識から発した「大フィンランド」思想は、19世紀末から20世紀初頭の国際政治の変動によって、カレリア人の居住地ロシア・カレリアごとフィンランドに「併合」しようとする思想へと変化した。このような「大フィンランド」思想を下支えしたのがカレワラ研究であったが、当時「フェンノ・スカンディア」、「自然のフィンランド」といったロシア・カレリアを含めたフィンランド像が別の学問分野でも想定されていたことに留意したい。

---

詩人ムスタパー(P. Mustapää)としての顔を持つ民俗学者ハーヴィオは両大戦間期から活躍していたが、民俗学者としての地位を確立したのは第二次世界大戦以降であった。両大戦間期、ハーヴィオは「大フィンランド」実現を目指したカレリア学徒会(AKS)及び「純正フィンランド性運動(Aitosuomalaisuuden liike)」でフィンランド語を「国家言語」として国家形成を目標に活動を行ったナショナリストであった。

しかし、そのような言動の一方で、ハーヴィオのカレワラ研究は「大フィンランド」思想にはそぐわないものであった。彼の研究の主な特徴としては、(1) フィンランドの詩と世界神話とのつながりを強調し、世界におけるフィンランドの位置づけを行った点、(2) 詩には「層」があり、様々な層が重なり合ってカレワラが誕生したため、カレワラの発生時期を示すことができないと断言した点、(3) それゆえ、詩人やその社会環境に注目することが重要だと示した点が挙げられる。

このようなハーヴィオのカレワラ研究は、当時主流であったカレワラの史実説とは全く違う路線上に位置づけることができる。当時、歴史学者ヤ

ルマリ・ヤーッコラらが提唱したカレワラの史実説は、実在したカレワラの英雄たちが西フィンランドからロシア・カレリアへ遠征、定住したとするものであった。このようなカレワラ研究から提唱されたカレリア人のフィンランド人起源説は、「カレワラの発祥地説」に替わって「大フィンランド」思想の根拠を裏付けるものとして利用された。以上のように、ハーヴィオのカレワラ研究は彼の政治的言動とは相反するものであり、カレワラ研究全てが「大フィンランド」運動と連動していたわけではないことは明らかである。

第二次世界大戦後、ハーヴィオは戦後の民俗学界を牽引する存在になるが、「普遍的な価値を持つカレワラ」という彼のカレワラ解釈に大きな変化は見られなかった。つまり、ハーヴィオのカレワラ研究への評価の戦前と戦後の変化は、受容する側、フィンランド社会における人々の意識の変化が理由だと推測できる。ハーヴィオのカレワラ解釈が「外に開かれた」外交政策を推進し、ソ連に対しても友好関係を構築する必要に迫られた戦後のフィンランド政府の政策にも合致した点からもその理由が見出せるであろう。

---

### 〔催し物案内〕

#### ■ 「女も男も子育てが楽しい国ノルウェー」

日時：3月23日 14:00～16:00

場所：ベイタウン・コア 打瀬公民館

問合せ：090-3491-4393

#### ■ 「Moomin Premium Collection in Ginza」

ー空から見たムーミン谷ー

日時：3月23日～28日

場所：銀座三越8階

#### ■ 「スウェーデンー日留学 Sweden Day」

日時：4月5日 15:00～20:00

場所：在日スウェーデン大使館

事前申し込み制先：sweden day 11@gmail.com

#### ■ 「アグネータ・フロックの世界ーゆめx織x物語」

ースウェーデンのテキスタイルー

日時：4月8日～29日

場所：スウェーデン大使館ギャラリー

### 【次回例会案内】4月例会

講演：「アルヴァ・アールトの建築」

講師：平山 達（多摩美術大学名誉教授 北欧建築・デザイン協会会長）

日時：4月4日（月）18:30～21:00

場所：京橋プラザ区民館（中央区銀座1-25-3）

会費：1000円 学生500円（正会員は無料）

---